

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調査書（平成30年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	「若い世代の結婚・出産・子育てでの希望をかなえる」プロジェクト		実施期間	平成30年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本市の人口は平成27年（国勢調査）で約84,000人となっており、5年間で約4,000人が減少する一方、世帯数の減少は約800世帯に留まっており、核家族化、単身世帯の増加が進行している状況にある。 こうした中で、人口の自然減を抑制するためには、合計特殊出生率、有配偶者率の増加が必要である。そのためには、出会いから家庭づくりの支援、安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援が必要である。 さらに、子育て環境の充実と併せ、0歳から15歳まで切れ目ない質の高い教育の提供を受けられるよう、教育・保育の一体的な提供等、質の高い教育が充実したまちづくりが求められている。							
プロジェクトの目的及び概要	■安心して子どもを産み育てることができる環境の充実 ■夢に向かい、かつよく社会を生き抜く力を育む質の高い教育環境づくり							
	総事業費（千円）	90,123	本年度事業費（千円）	90,123	交付金額（千円）	32,701		

プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）	
市町村実施事業	出産・子育て環境充実事業	交付対象事業	婚活事業の推進（実行委員会） 私立保育園看護師配置支援事業 不妊・不育治療給付 妊産婦歯科健康診査事業 私立幼稚園施設整備事業 障害児通園事業費補助（障害児通園施設） 私立幼稚園すくすく育成補助	・未婚男女交流イベント1回開催（参加者29名） ・私立保育園看護師配置支援事業費補助金（2園） ・不妊・不育治療給付事業助成費補助 不妊96名・不育4名（保険医療課） ・妊産婦歯科健康診査事業 対象者数625人 受診者数227人（受診率36.3% 過去最高） ・私立幼稚園施設整備費補助金（3園） ・障害児通園事業費補助（障害児通園施設運営経費） 職員12名体制 平均利用人員 12.9人/日 開設日数 232日/年 ・私立幼稚園すくすく育成補助金（7園）	
	質の高い教育環境整備事業	交付対象事業	英語指導助手の設置 夢チャレンジサポート事業 小中一貫教育の推進 工業高等専門学校就学資金貸付事業	・英語指導助手の設置（7名、延べ1,298回訪問） ・英語検定受験料の補助（受験者数延べ670人） ・小中一貫教育を全中学校区で導入済み。（28年度：城北・加佐、29年度：青葉・和田、30年度：白糸・城南・若浦） ・工業高等専門学校に29年度に入学した者から適用。29年度3人、30年度2人	
	保育所発達支援事業費補助金	関連事業	発達支援加配保育士を配置する民間保育園への補助	保育所発達支援事業費補助金（10園）	
	保育の質の向上に係る保育士確保支援事業費補助金	関連事業	臨時保育士の配置に要する経費に対する補助（認可保育園）	保育の質の向上に係る保育士確保支援事業費補助金（6園）	
	保育士の処遇改善事業費	関連事業	民間保育園の保育士に対する処遇改善費用の一部を補助	保育士の処遇改善事業費（12園）	
	いじめ・不登校対策経費	関連事業	教育支援センターの運営費、不登校児童生徒を対象とした野外体験活動の実施、いじめ相談ダイヤルの設置	子ども相談員2名、いじめ相談員2名、臨床心理士1名配置。不登校児童生徒対象の野外体験活動2回実施。	
	学習支援事業	関連事業	モデル小学校2校を選定し、平日放課後の学習支援を行う。	小学5・6年生対象、週2回実施 新舞鶴小 56回開催 児童延べ655人（実人数15人） 中舞鶴小 47回開催 児童延べ456人（実人数11人）	
	子ども総合相談センター運営経費	関連事業	妊娠期から出産・子育て期、さらには18歳までの子どもに関わる様々な悩みや相談、支援をワンストップで提供する。	相談員：7名体制 ・相談対応延べ件数：10,219件 （来所752件、電話6,037件、訪問3,430件）	
住民協働事業					
住民が取り組む事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	待機児童数（0人）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	0人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	待機児童数0人の堅持を達成	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	保幼小連携によるカリキュラムの策定		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	平成31年2月に、舞鶴市保幼小中接続カリキュラム「まいつるカリキュラム015」を策定済
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	0歳から5歳の「乳幼児教育ビジョン」をスタートとして、6歳から15歳までの切れ目ない円滑な接続を目指す体制を整えることができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (全国学力学習状況調査) (80%)		成果指標の実績値 (30年4月17日時点)	小：68.3%、中：42.6%
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標値には達していないが、夢や目標を持つ児童生徒が、昨年度より小学校で2.2%、中学校で1.1%上昇した。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	授業がよくわかると回答した子どもの割合 (全国学力学習状況調査) (80%)		成果指標の実績値 (30年4月17日時点)	小：83.8%、中：66.9%
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	昨年度より中学生の実績値が-5.6%下がったが、小学生については1.4%上昇し目標値80%超は達成しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：舞鶴市

成果指標 ⑤	成果指標の目標数値	小中一貫教育の全校導入			成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	全中学校区に導入済み。(28年度：城北・加佐、29年度：青葉・和田、30年度：白糸・城南・若浦)		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	平成28年度からモデル事業方式で導入開始、平成30年度に全校導入が完了。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること		「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」「授業がよくわかると回答した子どもの割合」は概ね増加傾向にあり、保幼小連携によるカリキュラムの策定と、小中一貫教育の全中学校導入が完了したことから、0歳から15歳までの切れ目ない円滑な接続を目指す体制を整えることができたことによる更なる効果が期待される場所である。学習支援事業をはじめ、夢チャレンジサポート事業など質の高い教育環境の整備を引き続き推進することにより改善・達成を目指していく。また、待機児童数については平成30年度も0人を堅持しており、本市の目指す安心して子どもを産み育てることができる環境の充実に寄与したものと考える。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。						
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	地方創生推進交付金を活用した保育所発達支援事業等により加配保育士の確保を支援することで、子育て環境の充実を図り、待機児童0人を堅持できている。						
	府と市町村等との連携に資する成果	少子化や子育てを取り巻く環境の充実が全国的な問題となる中、待機児童数0人を維持し、切れ目のない子育て支援、質の高い教育環境を提供する本プロジェクトは、府の掲げる「京都の未来を拓く人をつくる」一助となっていると考える。						
	住民の自治意識を高める成果	小中一貫教育の導入開始により、学校・地域・家庭が連携した教育の効果が認識され、これまで以上に地域(校区)で学校運営を支えていくという意識の醸成につながった。						
	リーディング・モデル成果							
	広域的波及成果							
	行財政改革に資する成果							
	その他の成果							

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。